合併や中核市に幻想いだくより

市民の地道な活動の力で すてきなまちをつくりましょう

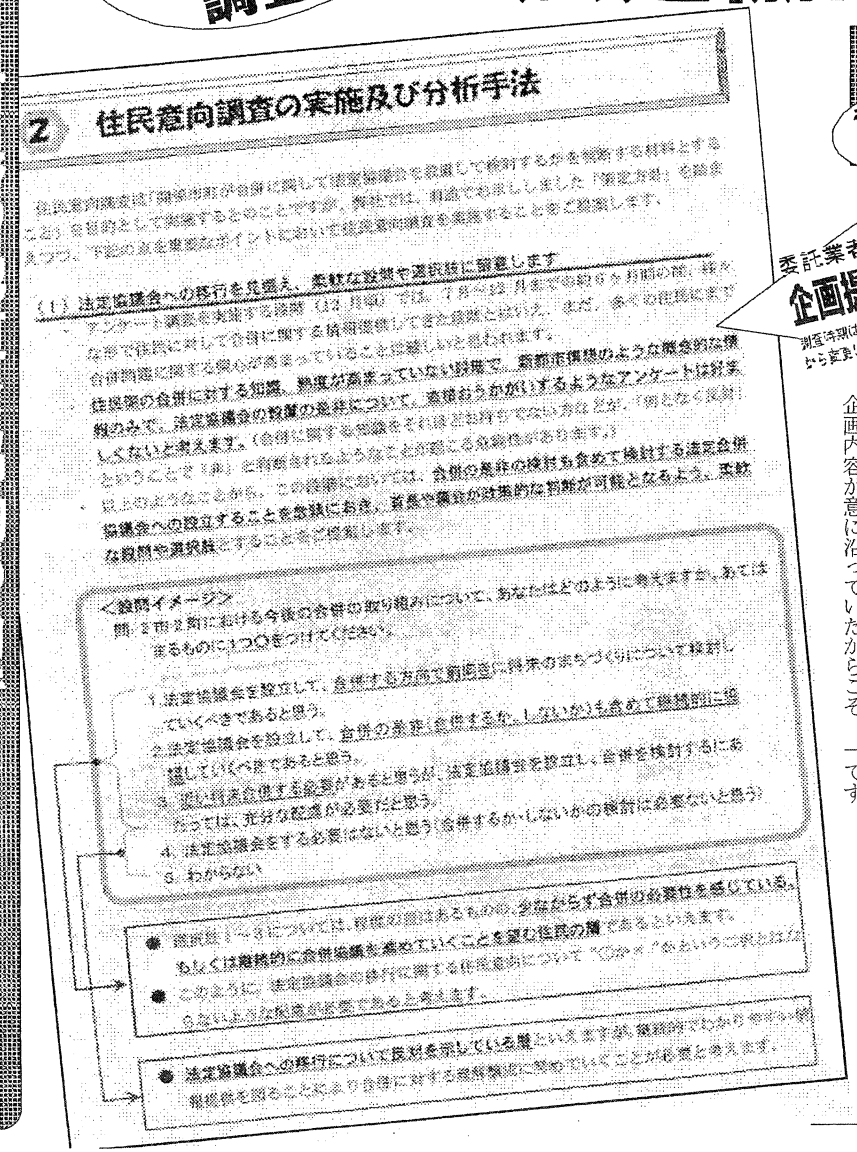
この夏予定の **住民意向調査**

調査を請け負うコンサル業者の企画提案書

「法定協設置」の結論に誘導

是非をストレートに問うと「非」になる「危険性」

そうならないように **「柔軟な設問や選択肢」を提案**

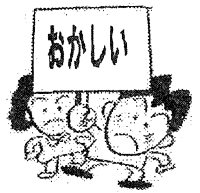


2 住民意向調査の実施及び分析手法

委託業者の **企画提案書**
調査時期は当初計画から変更になっています

これでは 市民の声を逆用して 「住民意向」を作り変えるもの

2市2町の任意合併協は、合併に向けコマを進める「法定」協議会の設置をめざし、今年の夏に「住民意向調査」を予定しています。調査は業者に委託して行います。業者から企画提案書の提出を求め、業者選定しました。



その企画提案書には「法定協議会の設置の是非について、（市民に）直接おうかがいするようなアンケートは好ましくない」「『非』と判断されるようなことが起こる危険性があります」と述べ、だからそうならないように「柔軟な設問や選択肢とすることを提案します」とあります。

つまり「住民の多数が法定協設置を望んでいる」と意図的に解釈できる「設問と解釈の仕方」を提案しています。

これでは「住民意向」を都合よく作り変え、住民に合併を押し付けるものです。

そもそも 無理な合併話だから 任意協は解散を

大義もメリットもない

宇治市当局は、議会で「コンサルを決めるために提出された企画書。これから任意協のなかで、アンケートの実施方法についても議論していく」と述べています。しかし、この企画内容が意に沿っていたからこそ、この業者を選定したわけです。

そもそもこの合併話には大義もメリットもないから、無理な意向調査の企画提案になるわけです。この合併話は中止し、任意協は解散すべきです。